土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　高梁川水系　学恩寺川　測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.5	**調査位置**	広島県庄原市東城町川西　地内					**北緯**	34° 54′ 5.5372″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2021年 12月 14日 ～ 2021年 12月 17日			**東経**	133° 15′ 58.3832″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 347.88m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	
総削孔長	13.00m							**試錐機**	東邦地下工機　D1-B48
								エンジン	ヤンマー　NFD-12
								ポンプ	東邦地下工機　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	343.98	3.90		盛土・礫混じり粘土質砂		橙褐	rd2		現世	ため池の堤体盛土である。 橙褐色の風化土を主体に，暗褐色の有機質土塊を不規則に含む。 礫分は細礫～中礫サイズであり，混入量はさほど多くはない。 多くのものはクサリ礫かしているようである。 砂分は中細砂を主体とするが，必ずしも粒度分布の悪いものではない。 全体に良く締固められており，試料を指圧で変形させるには少し強い力を要する。 含水は中位以下である(乾燥状態にあるものではない)。
	340.88	7.00		盛土・礫混じり砂質粘土		暗褐		rc2		やや均質な粘性土であり，刃金(遮水材)の可能性がある。 全体に褐色の色調が強く，有機質であると思られる。 貫入試料を持った際，少し軽い印象がある。 砂分は細砂からなる。 礫分は細礫からなり，大径のものは認めない。 貫入試料は軟らかく，指圧で容易に潰せる。 貫入試料の含水は，5mが中位で6m以深が少し高めである。
	340.23	7.65		砂質粘土		暗褐		rc4	新生代第四紀完新世	土質に明確な差異は認めないが，N値が急増する。在来地盤の可能性が高い。 微量の腐植物片を認め，土の層で間違いない。
	339.23	8.65		玉石混じり砂礫		暗青灰	rd3			岩組織を認めず，堆積層と判断した。 ただし，大径の礫分を含んだ粗粒土へと急変しているため，礫岩強風化土の可能性を否定しない。
	337.98	9.90		強風化礫岩		暗青灰			新生代第三紀中新世	岩組織を明瞭に認める。 半固結の砂礫状コアをなす。 9.6~9.9m間は砂岩に近い。 【DL級，礫混じり土砂に相当する】
	337.48	10.40		風化礫岩		暗灰				10cm強の柱状コアをなすが，貫入試験は受け付ける。指圧砕は不可能な程度に固結している。 【CL級，軟岩Ⅰに相当する】
	335.48	12.40		砂岩		暗灰				下方に粗粒化する砂岩層である。コアは10~60cmの柱状をなす。分離面は層理面と調和的で，掘削による割れと考えられる。非常に良く固結しているが，カッターで表面を傷つけることができ，表面をごく薄く(粉末状に)削ることができる。軟岩ではあるものの，風化という名称はなじまない。 【CL級，軟岩Ⅰに相当する】
	334.88	13.00		礫岩		灰				非常に良く固結した礫岩。40cm以上の柱状コアを呈す。分離面は大径の礫に沿ってはがれたものである。軟岩ではあるものの，風化という名称はなじまない。 【CL級，軟岩Ⅰに相当する】

孔内水位／測定日：12/14 地盤面

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	2	2	2	6/300		
	1.45						
5	2.15	1	2	2	5/300		
	2.45						
9	3.15	4	2	3	9/300		
	3.45						
5	4.15	2	1	2	5/300		
	4.45						
3	5.15	1	1	1	3/300		
	5.45						
4	6.15	1	2	1	4/300		
	6.45						
14	7.15	4	5	5	14/300		
	7.45						
13	8.15	3	4	6	13/300		
	8.45						
14	9.15	5	4	5	14/300		
	9.45						
188	10.05	50/80			50/80	80	
	10.13						
	11.00	貫入不能			50/0		
	11.00						
	12.00	貫入不能			50/0		
	12.00						
	13.00	貫入不能			50/0		
	13.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験：

原位置試験：

削孔月日：12/11　12/15　12/16　12/17